

第105回南部杜氏自醸清酒鑑評会

＝吟醸酒の部、純米酒の部の2部門で開催＝

今年も吟醸酒の部、純米酒の部の2部門で開催します。多くの出品をお待ちしております。

第105回南部杜氏自醸清酒鑑評会開催要領(案)

1. 事業の目的 南部杜氏に係る酒造技術の研鑽と資質の向上を図る。
2. 審査期日 令和6年4月2日(火)～4月5日(金)毎日午前9時開始
3. 開催搬入場所 岩手県花巻市石鳥谷町中寺林7-14 南部杜氏協会
4. 搬入受付期間 令和6年3月22日(金)午前9時～3月27日(水)午後5時
5. 出品酒類 (規格)

出品区分	精米歩合	附香味
吟醸酒の部	60%以下	不可
純米酒の部	70%以下	
6. 審査方法 ポアラーと少量プラカップを用いて審査する。
7. 出品数量 出品区分ごとに出品酒1点につき720mℓ瓶5本とし、出品点数は出品区分ごとに2点以上で上限は定めない。全品にレッテルを貼付すること(肩貼りは不要)。
8. 出品目録の送付 出品目録は、出品酒の梱包内に入れて送ること。
9. 搬入方法 宅配便又は直接持参も可とし早めに出荷のこと。
10. 出品申込み 令和6年2月9日(金)までにハガキ必着で申込みのこと。
11. 審査員 第2審及び決審の審査員は、国税庁、各国税局鑑定官(仙台局・東京局等の室長、元室長)及び各県指導機関の諸先生方を委嘱する。第1審の審査員は、仙台湾税局及び各県指導機関等の諸先生方を委嘱する。
12. 表彰式 令和6年5月24日(金)を予定している。会場は石鳥谷生涯学習会館とする。
13. 一般研究公開 会員に対しての出品酒の公開は、南部杜氏協会研修場において行う。



慎重に行われた審査(第2審)

吟醸酒の部1位
茨城県 森嶋正一郎氏 森島酒造(株)



純米酒の部1位
山形県 加藤宏太氏 富士酒造(株)



第一〇四回南部杜氏自醸清酒鑑評会

吟醸酒の部一位は森嶋正一郎氏 純米酒の部は加藤宏太氏

第一〇四回南部杜氏自醸清酒鑑評会は、令和五年四月四日から七日までの四日間、南部杜氏協会研修場で審査を実施し、表彰式は五月二十四日に石鳥谷生涯学習会館で開催しました。また、同日、吟醸酒の部、純米酒の部それぞれ上位十点を南部杜氏協会研修場で一般公開しました。

酒の部二百八十三点(百十場)、純米酒の部三百十三点(百十六場)、合わせて五百九十六点でした。審査は、第一審は十二人、第二審と決審は十三人の審査員が四点法により実施しました。酒米の産地によって米の溶け具合が違い、酒母や醗の管理に苦労があった中、穏やかな香りと綺麗な味わいが調和した吟醸酒、程よい旨みの滑らかな純米酒など、高品質で個性のあるお酒が揃っており、いず

れも甲乙つけ難く、審査員は苦勞されたようでした。審査の結果、吟醸酒の部七十場、純米酒の部七十一場が優等賞に選出され、吟醸酒の部では森嶋正一郎氏(茨城県・森島酒造(株))、純米酒の部では加藤宏太氏(山形県・富士酒造(株))がそれぞれ一位の栄冠に輝きました。上位入賞者は次のとおりです。

優等賞受賞状況

都道府県	吟醸酒の部			純米酒の部		
	出品数	出品点数	入賞数	出品数	出品点数	入賞数
北海道	4	12	4	3	11	3
青森県	5	14	4	5	12	3
岩手県	13	29	6	17	51	12
宮城県	13	32	9	12	27	7
山形県	1	2	1	1	2	1
福島県	9	22	7	8	20	8
茨城県	7	20	5	9	24	6
栃木県	11	32	8	10	32	7
群馬県	2	5	1	1	2	0
埼玉県	8	18	5	6	12	2
千葉県	8	22	5	6	20	3
東京都	1	2	0	2	4	0
神奈川県	2	4	0	3	6	0
新潟県	0	0	0	1	2	1
石川県	1	2	0	1	2	0
福井県	3	10	3	3	10	3
山梨県	2	6	2	1	4	1
長野県	0	0	0	1	2	0
岐阜県	2	4	1	4	12	4
静岡県	4	8	0	6	14	2
愛知県	1	2	1	2	4	1
三重県	1	2	0	2	4	2
滋賀県	1	2	1	1	2	0
京都府	2	6	0	3	9	2
大阪府	3	6	2	0	0	0
兵庫県	2	5	2	2	4	0
奈良県	2	4	1	2	6	1
和歌山県	1	3	1	1	3	1
鳥取県	1	3	0	1	4	0
島根県	0	0	0	1	2	0
岡山県	1	6	1	1	6	1
合計	111	283	70	116	313	71

南部杜氏の酒造技術を継承する人材を育成



最終日に行われ特別講演

令和五年度の南部杜氏セミナー「酒造大学」は、令和五年七月二十一日から八月三十一日まで、九回にわたり開催しました。酒造大学は、伝統ある南部杜氏の酒造技術を将来に向けて継承できる人材の確保と育成を図ることを目的に開催しております。

受講生は、講師を務めた地方独立行政法人岩手県工業技術センターの先生方や先輩杜氏から、帳簿記帳や酒屋唄、きき酒、杉玉づくりなどを学んだほか、酒蔵見学を行いました。

八月三十一日には、先人研究家の田村勝則さんによる特別講演の後、閉講式を行い、会長から受講生二十二人に修了証が手渡され、受講生を代表して盛岡支部の川村咲子さんが答辞を述べました。

労働災害を防止しよう!

慣れた作業も初心に返って慎重に

だれでも事故はあってはならないこと、起きてはならないことと考えています。これらの事故は特別な作業をしていない時に起こっている。その一方で事故は自分には無関係で、自分だけは大丈夫だと思いがちです。事故はそうした心の隙間から静かに忍び寄り、起きてしまうものです。

こうした事故は、日ごろからのちょっとした心がけや気配りで、未然に防止し、起こる危険性を減らし、起こったとしても被害を小さくすることができます。

過去の発生状況を見ると、転落、機械類への巻き込まれ、転倒が多い傾向にあります。また、事故の起きやすい場所は、仕込みタンク周辺や原料処理場などです。これらの事故は特別な作業をしていない時に起こっている。その一方で事故は自分には無関係で、自分だけは大丈夫だと思いがちです。事故はそうした心の隙間から静かに忍び寄り、起きてしまうものです。

酒造従業員の高齢化に伴う健康、判断、運動能力の衰え、経験に乏しい従業員による機械操作の不慣れや不注意なども事故の原因の一つと考えられますが、経験豊かな従業員でも事故は発生しており、慣れた作業であっても油断は禁物です。常日ごろから安全作業を心がけ、事故防止に努めましょう。

賀春 令和六年

本年もよろしくお願いたします

石鳥谷金融団三水会



支店長 佐藤 友哉



支店長 鈴木 卓也



支店長 高橋 正樹

ホームページについて

南部杜氏協会には独自のホームページがあり、ぜひ、協会からのお知らせ(一社)花巻観光協会のホームページをお借りして掲載しております。鑑評会、講習会、杜氏試験等のお知らせを随時掲載しております。どうぞご覧ください。

ご覧になる場合は、「花巻観光協会 お知らせ」と検索してください。

協会費納入期限二月十日迫る

協会費納入がまだの方は、期限までに納めるようお願いします。遅れた場合は延滞料金が発生します。

令和6年 第113回 夏季酒造講習会日程

7月23日(火)~7月26日(金)

今年も昨年同様4日間の日程で花巻市石鳥谷町内において夏季酒造講習会を開催します。多くの会員の皆様の受講をお待ちしております。

第112回南部杜氏夏季酒造講習会受講者数

区分	杜氏科		研究科		特 科		計		会 員 出席率	平均日数 (日)	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数			
県 内 会 員	盛岡	21	7	52	15	12	4	85	26	60.5%	3.3
	紫波町	30	9	25	8	6	4	61	21	60.0%	2.9
	石鳥谷	18	5	9	4	0	0	27	9	47.4%	3.0
	石鳥谷東	9	5	18	4	6	2	33	11	78.6%	3.0
	大迫	10	3	13	4	4	2	27	9	45.0%	3.0
	花巻	8	5	38	12	0	0	46	17	48.6%	2.7
員	北上	14	4	19	7	4	1	37	12	70.6%	3.1
	計	110	38	174	54	32	13	316	105	57.4%	3.0
	県外会員	145	49	339	98	83	24	567	171	43.2%	3.3
	小計	255	87	513	152	115	37	883	276	47.7%	3.2
	賛助会員	6	3	13	3	94	27	113	33		3.4
合 計	261	90	526	155	209	64	996	309		3.2	

動画による受講者数 164人 (県内会員9人、県外会員145人、賛助会員10人)



「南部杜氏の歴史」をテーマに行われた先輩杜氏による座談会形式の講義

第二三回南部杜氏夏季酒造講習会 全国から二百九人が受講

第一二回南部杜氏夏季酒造講習会は、令和五年七月二十五日から二十八日まで四日間、花巻農業協同組合石鳥谷支店(杜氏科)、石鳥谷生涯学習会館(研究科)及び好地振興センター(特科)で開催しました。四年ぶりに以前のかたちでの開催となり、受講者数は三百九人、延べで九百九十六人となりました。また、会場で受講できなかった会員の方々は、後日動画を配信し、百六十四人の方に受講していただきました。今回は「醗、三日日は「醗」と日ごとにテーマを定めて講義をしていただきました。また、二日目は、南部杜氏について学びたいとの声を受け、座談会形式により先輩杜氏からお話をお聴

きし、好評をいただくなど大変有意義な講習会となりました。しかしながら、コロナによる行動制限が軽減されたとは言え、まだ以前に比べ来場される方が少ないという印象でした。動画の配信は今後も継続したいと考えておりますが、会場に来て生で講義を聴いていただくことも、会員同士の交流を深めることも重要と考えます。今年も多くの方と会場でお会いできることを期待しております。

「南部杜氏の歴史」をテーマに行われた先輩杜氏による座談会形式の講義

第一二回南部杜氏夏季酒造講習会において合格された方は次のとおりです。

● 講習会の内容

● 動画の内容

● 動画の公開時期・期間

● 協会に望むこと

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

特科試験合格者

氏名	所属	氏名	所属
浅田孝治	三重 (株)宮崎本店	吉田智哉	福井 (株)一本義久保本店
竹中優馬	和歌山 平和酒造(株)	滝澤享介	盛岡 菊の司酒造(株)
加藤優斗	和歌山 平和酒造(株)	門傳菜々子	宮城 門傳醸造(株)
垣内崇宏	愛知 伊東(株)	草刈憲之	宮城 (株)寒梅酒造
斗澤慎治	東京 田村酒造場	森田竜貴	岐阜 (株)渡辺酒造店
鈴木康太	栃木 西堀酒造(株)	藤田泰秀	千葉 吉野酒造(株)
三津野陽大	和歌山 平和酒造(株)	相原尚貴	福島 榮川酒造(株)
別段太陽	福井 (株)一本義久保本店	橋本 涼	北海道 曲中酒造(株)亀甲蔵
田中 誓	神奈川 泉橋酒造(株)	苫米地音音	青森 八戸酒造(株)
島田茂輝	大阪 (株)利休蔵	坂本浩一	栃木 北関酒造(株)
北川 更	宮城 (株)佐浦	佐々木克洋	宮城 (株)寒梅酒造
佐藤 航	北上 世婚の一酒造(株)	鈴木健弘	福島 榮川酒造(株)
福嶋陽平	福井 (株)加藤吉平商店	上野大樹	盛岡 菊の司酒造(株)
本田貴範	栃木 (株)渡辺佐平商店	早坂隆志	宮城 (株)中勇酒造店
山本桂司	京都 ハクレイ酒造(株)	安田 聡	京都 ハクレイ酒造(株)
井上健司	埼玉 横田酒造(株)	手嶋 光	和歌山 平和酒造(株)
横沢孝之	茨城 (株)月の輪酒造店	志田翔虎	千葉 鍋店(株)神崎酒造蔵
江幡大蔵	茨城 明利酒類(株)	田口義己	埼玉 南陽醸造(株)
鈴木崇洋	福島 榮川酒造(株)	門矢将俊	北海道 確水酒造場

日杜連情報

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

● 日本酒造杜氏組合連合会認定

● 懸賞論文を募集

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

新春を迎え 皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます

令和六年元旦

南部杜氏協会

- 一般社団法人
- 会長 梅澤 努 (紫波町) 谷櫻酒造(有)
- 副会長 高橋 康 (石鳥谷東) 須藤本家(株)
- 理事 熊谷 利夫 (紫波町) 岩手県工業技術センター
- 理事 奥村康太郎 (花巻) (株)浜千鳥
- 理事 佐藤 吉宏 (紫波町) 國権酒造(株)
- 上川 隆造 (石鳥谷) 北村酒造(株)
- 熊谷 茂夫 (盛岡) 東薫酒造(株)
- 藤原 義孝 (大迫) 萩原酒造(株)
- 小野 裕美 (盛岡) (株)紫波酒造店
- 八重樫次幸 (北上) 初亀醸造(株)
- 田村 誠 (花巻) (株)南部美人
- 代表監事 藤村 光弘 (盛岡) (株)桜顔酒造
- 監事 鎌田 修司 (石鳥谷) 金の井酒造(株)
- 高橋 勝芳 学識経験者
- 名誉会長 直町 昊悦 (石鳥谷) 天鷹酒造(株)
- 相談役 菅原 敬夫 伊藤 亮一 岩清水文雄
- 浅沼 政司 菅原 銀一
- 事務局 菅原 善幸 川村 国子 伊藤千恵子

「南杜バッチ」あります。

一個、三〇〇円です。

ご希望の方は直接協会にお申し込みください。

電話・FAX 〇一九八四一五二〇五八

編集後記

このたびの能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

昨年は、岩手(盛岡)でも四十二日間連続で真夏日となり、二十六年ぶりに連続記録を更新するなど、記録的な暑さとなりました。七月に行った夏季酒造講習会の際も猛暑が続き、受講された皆様に大変な思いをさせてしまいました。心よりお詫び申し上げます。

今年も暑い夏がやってくるかもしれませんが、少しでも快適に受講できるようにしたいと思っております。多くの会員が受講されますようお願いいたします。

会員の皆様には、健康に十分ご留意され、事故なく皆造の日を迎えられますことを願っております。